

令和4年度 学校だより

3月号

横浜市立上郷小学校



上郷

〒247-0026 横浜市栄区犬山町6番1号

電話 045-894-0761

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamigo/>

「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」

学校長 海津 善宜

先日、梅の木に可憐な花が咲いているのを見つけました。そして、気温はまだ低いけれど、少しずつ春の気配を感じられるようになってきたことに気づきました。梅はまだ寒さが残る中、他の花よりも先駆けて咲く花で、「春告草(はるつげくさ)」と言われ、300種類以上があり、早いものは1月頃から咲き始めるそうです。忙しく過ぎていく日々で、植物たちは私たちに春の到来を知らせています。令和4年度もいよいよ最後の月を迎え、まとめの時期となりました。子どもたちには、一年間を振り返り、自分の成長を確認しながら、一日一日を大切に、クラスの友だちや先生とひとつでも多くの思い出をつくらせたいと思っています。

さて、4月は「出会い」の季節に対して、3月は「別れ」の季節とも言えます。別れという私は、以前に読んだ「尾道三部作」等で有名な映画監督の故・大林宣彦氏が、映画の中でいつも使う別れの言葉は、「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」だというインタビュー記事を思い出します。「ありがとう」とは、出会わせてくれた運命と、出会ってくれたあなたへの感謝、「ごめんなさい」は、そのあなたにももらったものの大きさに対して、自分があげることのできなかった多くの事についての申し訳なさ、そして最後には、礼儀正しく「さようなら」。言葉は記憶となって人の心に残り、様々な別れは、寂しさよりも懐かしさを生む。人生がこのようにしてつくられていくものであるなら、別れ数だけ人生は豊かになっていくのだと。最後は、“人は「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ優しくなり、「さようなら」の数だけ愛を知る”と結ばれていました。この3月、子どもたちには、これまで気づかずに通り過ぎて行った小さな触れ合いも含め、友達や先生、家族との人との関わり合いについてゆっくりと振り返りながら、賢くなった自分、優しくなった自分、愛されている自分を感じてもらいたいと思っています。

この一年間、連合町会長様、町会・自治会長様、学校ボランティアの方々をはじめ地域の皆様、PTA役員をはじめ保護者の皆様、本校の教育活動へのご理解・ご支援をいただき、本当にありがとうございました。子どもたちは多くの人との触れ合いの中で、よりよい人間関係を築きながら成長していきます。どうぞ、これからも地域の中で育つ子どもたちへ励ましの言葉やお気づきになったことなどのお声掛けをお願いいたします。来年度も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



校庭の紅梅